

## 要 旨

試験委託者

環境庁

表 題1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験試験番号

NMMP/E99/4220

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

被験物質	: 1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン
方式	: 半止水式(24時間換水)
供試生物	: ヒメダカ ( <i>Oryzias latipes</i> )
試験濃度	: 対照区、助剤対照区および0.38mg/L、0.69mg/L、1.20mg/L、2.20mg/L および4.00mg/L(設定濃度)
曝露期間	: 96 時間
試験液量	: 3.0L
生物数	: 10 尾/濃度区
照明	: 室内光、16 時間明/8 時間暗
エアレーション	: なし
温度	: 24±1℃

結 果

試験の結果、1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼンの実測濃度の幾何平均値に基づく96時間の半数致死濃度(LC50)は0.31mg/Lであり、その95%信頼区間は0.22mg/L～0.40mg/Lであった。